

卒業生の就職先に対するアンケート

調査結果

(令和 6 年 3 月)

尚絅大学・尚絅大学短期大学部

大学企画室

目次

調査概要.....	3
調査結果.....	4
(1)文化言語学部	4
(2)生活科学部	7
(3)総合生活学科	11
(4)食物栄養学科	14
(5)幼児教育学科	19
調査票.....	28

調査概要

- 調査目的
本学卒業生を採用した事業所を対象に、採用にあたり重視した能力や採用後の本学卒業生の能力を調査することで、本学における教育の質の向上を図るための参考とする。
- 調査対象
令和4年3月に卒業し、就職した333名の本学卒業生を採用いただいた254事業所
＜事業所ごとの採用人数＞
1名採用:212社 212名採用、2名採用:23社 46名採用、3名以上採用:19社 75名採用
- 実施時期
令和5年12月下旬～令和6年1月下旬
- 調査方法
人事・採用担当者宛てに調査票を郵送し、郵便(返信用封筒)及びE-mail、FAXで回答を受付
- 調査票の回収状況
・事業所 141/254 事業所(回収率 55.5%)
昨年度回収率 53.5%
- 業種内訳【質問1】

	回答数		回答数
建設業	2	生活関連サービス業、娯楽業	4
製造業	2	医療・福祉	37
電気・ガス・熱供給・水道業	0	教育、学習支援業	3
情報通信業	0	保育園・幼稚園・こども園	70
運輸業、郵便業	0	複合サービス事業	1
卸売業、小売業	13	サービス業	5
金融業、保険業	0	公務	1
不動産業、物品賃貸業	2	その他	0
宿泊業、飲食サービス業	1	回答無し	0
		合計	141

- 従業員規模【質問2】

	回答数
10人未満	3
10人以上50人未満	73
50人以上100人未満	17
100人以上	47
回答無し	1

- 所属学部・学科回答数【質問3】

	回答数
文化言語学部	15
生活科学部	15
総合生活学科	18
食物栄養学科	27
幼児教育学科	65
無回答	1

調査結果

(1)文化言語学部

・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	13	86.7%
非正規	1	6.7%
正規及び非正規	1	6.7%
合計	15	100.0%

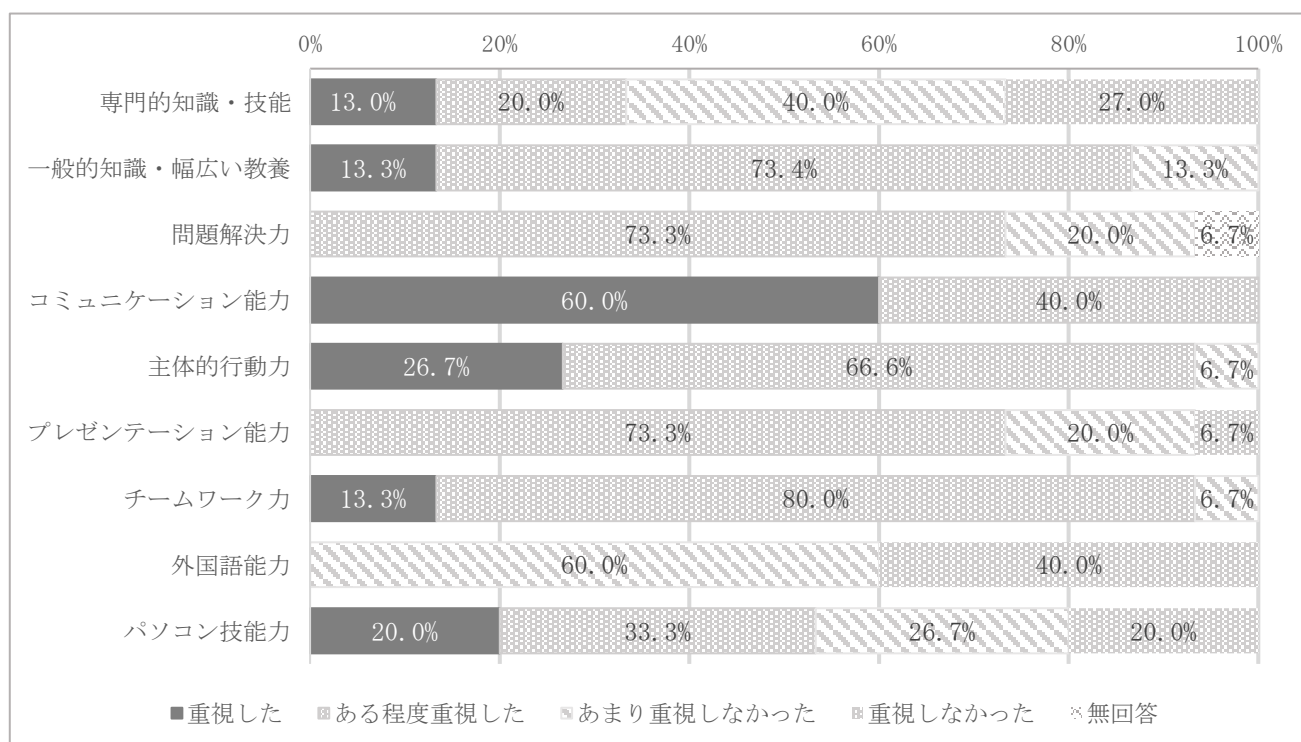
・業種の割合

業種	割合
建設業	13.2%
卸売業、小売業	60.0%
不動産業、物品賃貸業	6.7%
生活関連サービス業、娯楽業	6.7%
医療・福祉	6.7%
教育・学習支援業	6.7%
合計	100.0%

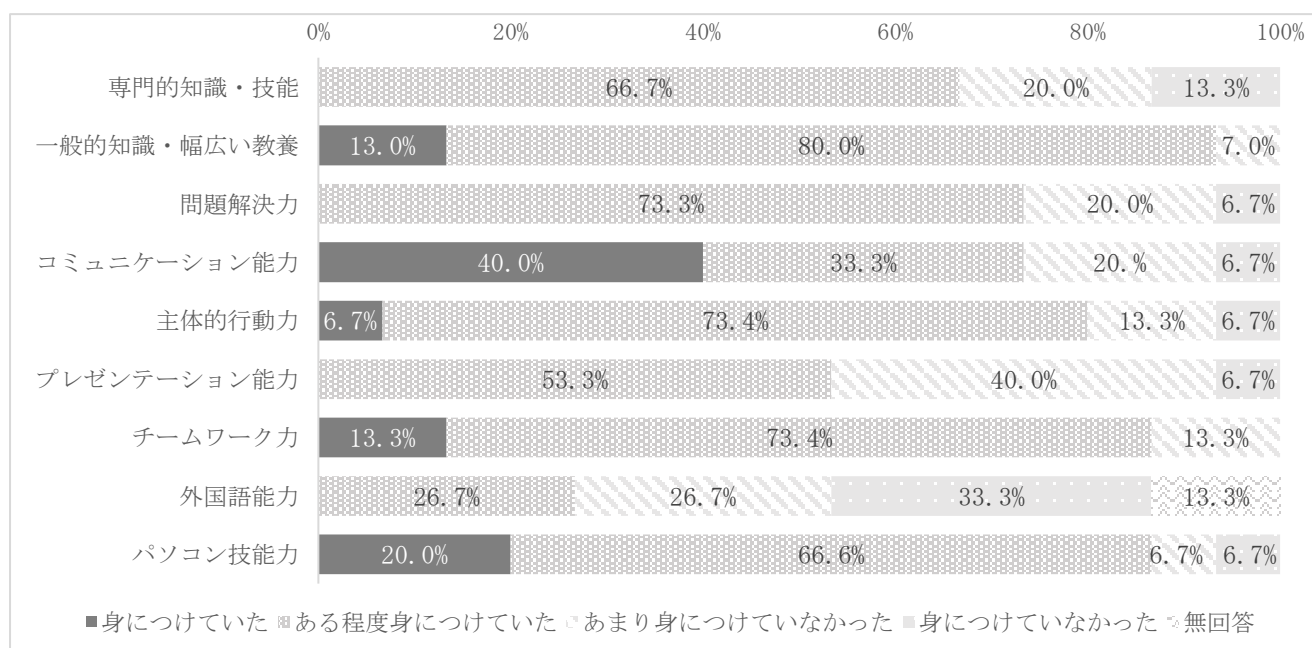
・職種の割合【質問 5】

職種	割合
司書	6.7%
事務職	40.0%
営業・販売職	33.3%
サービス職業従事者	20.0%
合計	100.0%

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。



〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・他部署や患者との対応等のコミュニケーション能力は身に付いていて対応を安心して任せることができた。
- ・コミュニケーション能力は身についていた。
- ・傾聴力、コミュニケーション能力、パソコンの技能、知識習得促進の為自己啓発力、主体的行動力。
- ・パソコンの技能は申し分なくネットで商品検索もスムーズに対応してくれた。
- ・SNS 等自分の強みを活かして、活躍している。
- ・窓口での応対業務のため、コミュニケーション能力を第一に重視していた。面接時にコミュニケーション能力はあった。

〈上記能力を身に付けていないと感じられる点〉

- ・専門的な知識・技能については全く初心者ということもあり、身に付けるまでにある程度の時間が必要であった。プレゼンについては、それを発揮する機会があまりなかったが、患者に納得のいく説明をできていないことが多々あった。
- ・生活のコントロール(体調管理等)に課題有。
- ・本学園の業務は職種に限らず他部署との連携が必要である。貴学学生が配属された部署は専門的な知識や技能を必要とする部署で、閉鎖な思考に陥りやすい環境にあるため、他部署との関わりをあまり持とうとせず、自分の部署のやり方や考え方にこだわってしまうことや他部署と積極的、主体的にコミュニケーションが取れていないため、学園という組織の一員であるという認識が不足していることなどが、「コミュニケーション能力」「主体的行動力」をあまり身に付けていないと感じた理由である。
- ・窓口対応で、文章ではなく単語を並べていた。また、声のトーンが低いので暗い印象を与えていた。しかし、1年余りで急激に成長してくれた。

- ・店舗運営の職種(現業職)にて採用後、続けていけないとの判断をされたため、事務職へ転向いただいた。(後から事務への配属の予定はあったが早まった。)多様なタイプの人と無理なくコミュニケーションが取れるようインターン等(バイトは個人に自由なので)参加して頂くと良かったと思う。
- ・積極性に課題があるような印象であった。

〈意見・要望〉

- ・意識、志を大きく、行動はコツコツ丁寧に。
- ・当社では、3年前より女性営業職を採用、現在2名が活躍している。共感性や細やかな気配り、コミュニケーション能力や傾聴力等女性の強みを理解して活かすことで活躍の可能性が広がっている。
- ・質問6で回答した通り、本学園では採用者の「コミュニケーション能力」「主体的行動力」を重視している。業務を行う上では、上司に報告、相談したり、他部署や外部とやり取りをしたり、このような能力がとても重要となる。本人の元々の性格や素質が関わる部分もあるかと思うが、トレーニングなどでこれらの能力をある程度向上させることもできるのではと思う。
- ・専門知識、技能等は入社後学んで頂ければ良いので、コミュニケーション能力(電話応対含む)を充実させるのが望ましいと思う。
- ・様々なタイプの方が社会に出るため、他者と関わる機会というのを学内でも多くとっていただけると良いと思う。
- ・令和4年4月度に採用させていただいた貴校の学生様は、様々な講義や検定試験に挑戦するなど向上心を持っていると感じ採用した。現在は、様々なスキルを積極的に身に付けお客様より賞賛のお声をいただくまでに成長している。コミュニケーションは「双方向」であると考えている。「伝わる」「気づく」「察する」の習得に頑張ってください。

(2)生活科学部

・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	15 人	100.0%
非正規	-	-
正規及び非正規	-	-
合計	15 人	100.0%

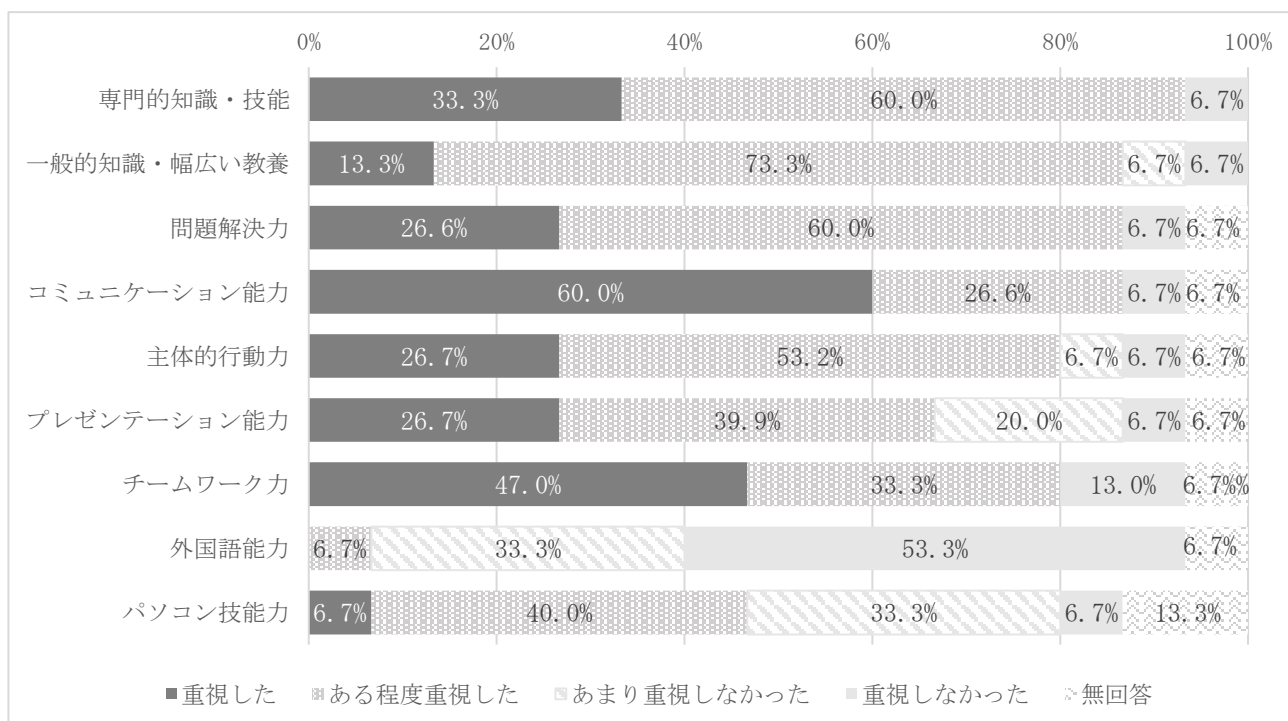
・業種の割合

業種	割合
製造業	6.7%
医療・福祉	79.9%
保育園・幼稚園・こども園	6.7%
サービス業	6.7%
合計	100.0%

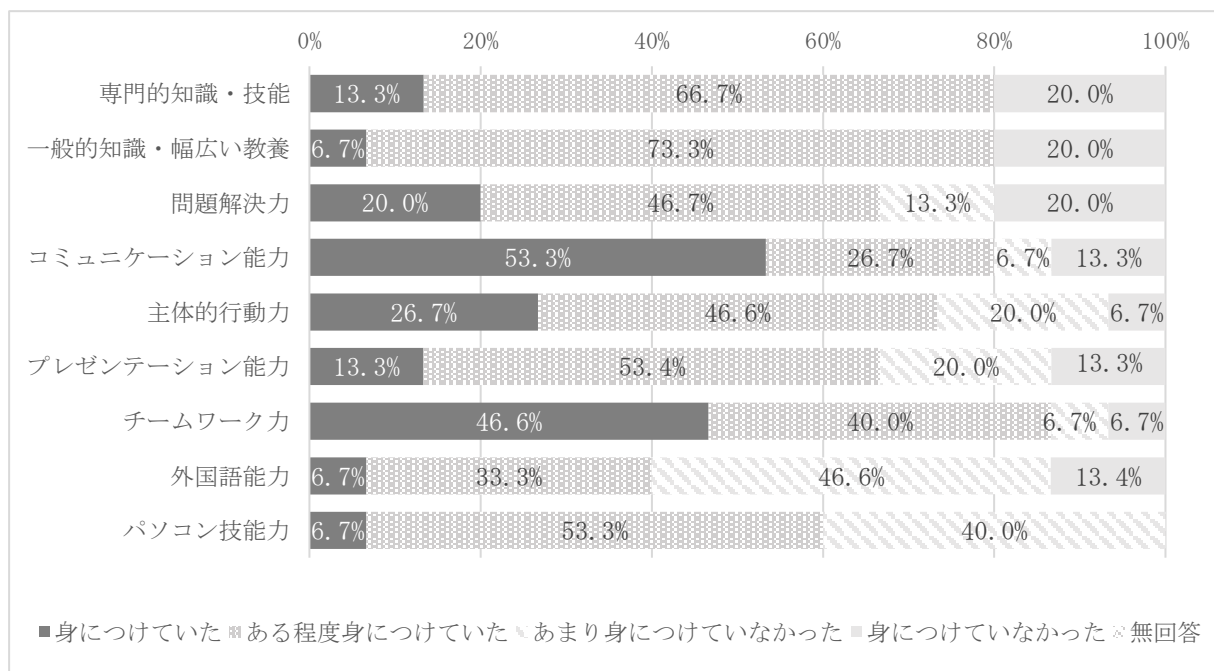
・職種の割合【質問 5】

職種	割合
管理栄養士	86.6%
栄養士	6.7%
営業・販売職	6.7%
合計	100.0%

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか



〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・コミュニケーション力や問題解決力、能力等、自ら動いて何かを行う事に関しては、大変頼もしく感じている。自分なりの工夫でより効率的に業務をこなしており感心しました。専門的な知識や一般常識に関しては、年齢相応である。
- ・幅広い年代の職員が勤務する職場だが、しっかりとコミュニケーションを取り、チームワークを成立させている。複数の施設の管理栄養士を務めてもらい、信頼される仕事ぶりである。
- ・社会人1年目という事で、習得の有無を聞かれるとどうしても身に付けていなかった方に重きが置かれると思う。しかし、彼女たちは1年目という立場を弁えており、懸命に仕事を覚え、同僚や患者様と関わろうと努力している。身に付けているか否かは特に重要でないと感じる。
- ・最終面接で入社後の目標についてプレゼンテーションを実施したが、内定者は各自それぞれ資料を準備し、プレゼンテーション能力が身に付いていると感じた。
- ・専門的な知識は身に付けられていた。コミュニケーション能力の高さや他者に対する気配りなど期待以上だった。また、学ぶ姿勢にも感心している。採用に間違いがなかったと思っている。
- ・身に付けていたと回答した「コミュニケーション能力」「チームワーク能力」に関しては、人の話をよく聞き理解することで、的確な答えを導くことができる。よく見る、よく聞く、よく考える事ができる。その事が部署との連携もスムーズに行う事ができている。
- ・卒業して間もないことから、専門知識に関しては記憶にあり、それを自信持って言えるか、自信がなくて言えない、声が小さくなるのどちらかだと思う。コミュニケーション、プレゼン力等は個々の性格にもよるので、常務に支障が無ければ良しとし、伸ばして欲しいところがあれば指導する様にしている。
- ・先輩「栄養士」とうまく付き合っている。ニュークックチル方式への移行をしたが、不慣れな中調理師たちと連携して対応できた。介護保険 life 対応、栄養マネジメント、加算対応等よく頑張ったと思う。優秀な人材をご紹介いただきありがとうございました。

- ・面接、筆記試験にて「コミュニケーション能力」「知識・学力」などの能力の有無を判断し、採用しました。

〈上記能力を身に付けていないと感じられる点〉

- ・外国語能力は発揮する機会は無かったが、ある程度にした。Excel の操作が苦手な様子なので、3 と評価した。
- ・1 つの業務に対して責任感が無さすぎる。
- ・社会一般常識の欠如。
- ・社会人と学生の違いをもう少し理解しているかと思っていたが、全く考えていない。
- ・研究発表などにおいてプレゼン能力がもう少し欲しい点である。また、積極性にやや欠けている点もあり、今後指導を行う事で期待したい。
- ・年上の職員に対する態度（言葉遣い、態度、目の合わせ方、挨拶、敬う気持ち）・職場にあった髪の色、社会人としての心構え。
- ・食事に関する（食材、調理法、機材など）の知識。
- ・パソコンはせめて Excel は出来るようになって欲しい。
- ・栄養学的な事（臨床）。
- ・急な変更に適応する力が欲しい。

〈意見・要望〉

- ・様々な年齢の方、職種と関わるため、基本的なコミュニケーション力は発揮している。欲を言うなら、エクセル、パワーポイントを使用する機会が多いので、使いこなせていると良いなと思う。
- ・社会人のマナーなど会社で教育はしていけるが、マナー的要素の取り入れた学習などもしていただければと思う。
- ・学生個人の資質の差はあると思うが、個々の個性を大切に見守って助言されるだろう。学生時代に様々な経験を志し、いつか糧となるよう学生が自信に繋がるような環境支援をして頂くと心豊かな縁に恵まれるのではないかいと思う。
- ・問題解決能力が身に付いているとストレス耐性が強くなっていくと思う。
- ・栄養業務にあたっては、きちんとこなして欲しいが、長年実習生（卒業生）を受け入れるたびに感じることは、自分自身のスキルアップの為に努力する姿勢が年々低下している様に感じる。受身的というか、もっと積極的に動いてほしいと思う事が増えた。また、統計学を深く学ぶことが学会や研修での発表に役に立つと思うので、校内でのプレゼン力を高める教育を更にお願したい。
- ・実習の受け入れもさせていただいて、ここ5年程でよく思うのは、受身の姿勢でいる傾向が強くなった気がする。指導する側も世代間ギャップはある前提で伝え方は工夫しているつもりでも、なかなか埋まらない、忙しい時等配慮に十分気が回らないことも多々あります。卒業までに生徒さんたちにも社会に出たら自身で切り開いていくものと意識するよう伝えていただけると助かる。
- ・栄養士については、臨床の前に「食」、「食材」についての知識、興味は持ってもらいたい。盛り付け、彩についてもスタッフに指示できる程度のスキルはあったらいいと思う。卒業後の研修、以前はあったと思うが、最近はコロナの影響か、聴かないので、、、。

- 弊社は、「思いやりと優しさを持ち、患者様中心に物事を考えられる方」「何事にも前向きに積極的に学ぶ意欲のある方」を人材として求めている。

(3)総合生活学科

・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	17 人	94.4%
非正規	1人	5.6%
正規及び非正規	-	-
合計	18 人	100.0%

・業種の割合

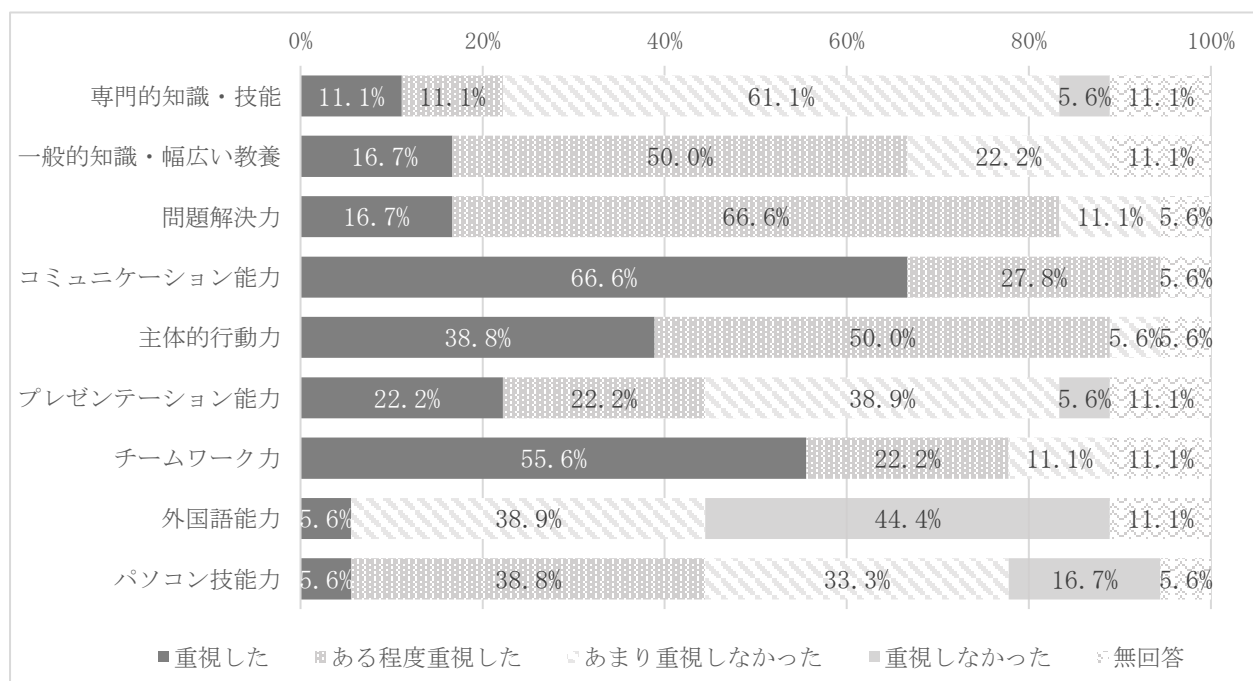
業種	割合
製造業	5.6%
卸売業、小売業	22.1%
不動産業、物品賃貸業	5.6%
宿泊業、サービス業	5.6%
生活関連サービス業、娯楽業	16.6%
医療・福祉	33.3%
教育・学習支援業	5.6%
複合サービス事業	5.6%
合計	100.0%

・職種の割合【問 5】

職種	割合
支援員	5.6%
福祉職	5.6%
事務職	33.3%
営業・販売職	16.6%
サービス職業従事者	33.3%
その他	5.6%
合計	100.0%

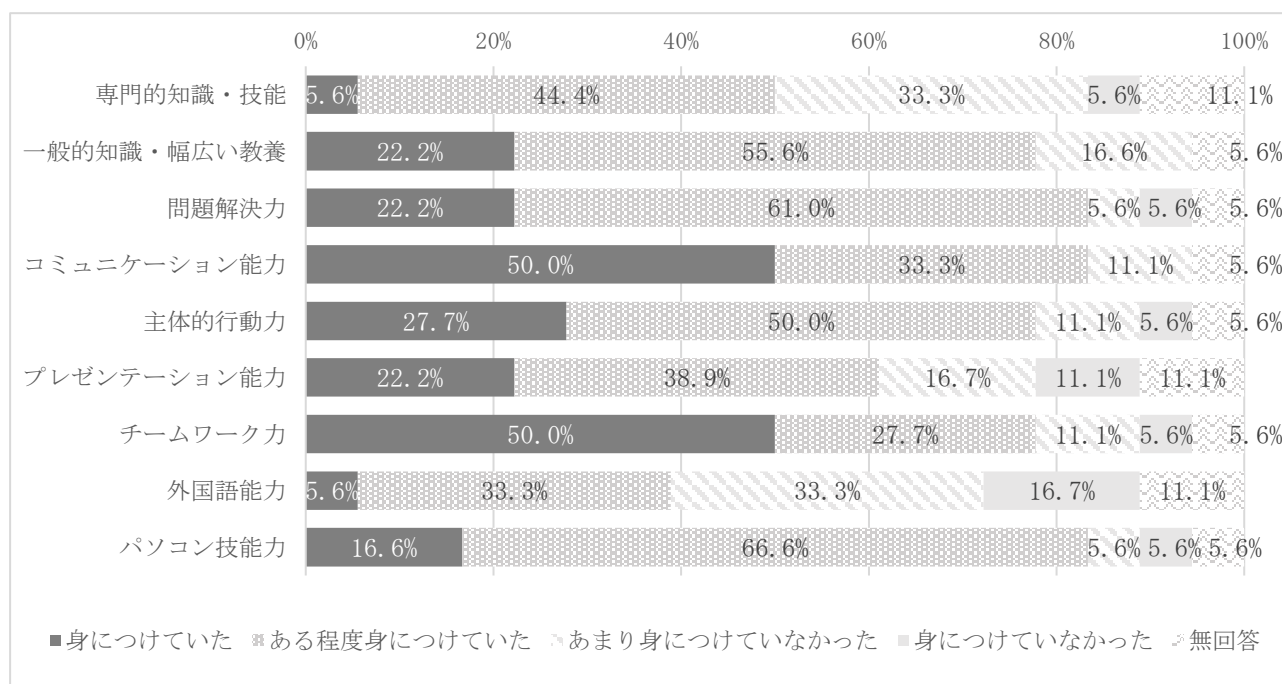
その他の回答:医療事務、サポートセンター

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



その他重視した点:勤労意欲

【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。



その他重視した能力: 勤労意欲

〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・選考に対し真摯に向き合う姿勢や面接時にお話しいただくエピソードから、努力して取り組んだこと、人柄が伝わってきた。
- ・お客様のお話をお伺いしている際にコミュニケーション能力、主体的行動力を身に付けていらっしゃると感じた。
- ・カフェスタッフ(店舗候補)としての採用でしたが身に付けて欲しい項目は満たしており、活躍していただいた。
- ・医療事務として入職した。部署内や他職種とも上手くコミュニケーションを取れていて、主任より「ミスが少なく集中して仕事に取り組んでいる」と聞いている。
- ・パソコン操作については基本的技能があり、特に指導することなく業務遂行できた。
- ・思いやりの気持ち、協調性など。
- ・金融の窓口担当として、顧客への接客対応などコミュニケーション能力があるところ。また、職場内における協調性のあるところ。
- ・専門知識や技能については現在「身に付けていなかった」としても学習していこうとする意欲や聞く力、伝える力を「身に付けていた」と感じられた。
- ・“主体的行動力”が身に付いていると感じた。1つ1つの習い事の継続力が高いと感じた。コミュニケーション力に関しては、未熟な点もあったが、彼女の才能である「継続力」をもってすれば改善できる課題と判断し採用に至った。

〈上記能力を身に付けていないと感じられる点〉

- ・病院の受付では様々な対応が求められるので、直ぐには難しいと思いますが、徐々に主体性を養ってもらえればと考えている。
- ・チームで支援しているので、若手はカバーしますし、身に付けていくべきことは研修していく。知らないことがあって当たり前だが、対「人」の職に就くならばチャレンジ精神とチーム力は大切かと思う。コロナで、積極的な行動や発信する機会、団体で何かに取り組むこと、どのような機会も少なかった世代かと思う。技術的な事は学ぶことができるが、何に対してもチャレンジすることを大切に学校生活を送ることができると、その後も変わっていくのではと思っている。
- ・電話対応、来客等、対人対応や各事業所(複数事業所があるため)や、各部署とのコミュニケーション(やり取り)の取り方が困難に感じた。また、自分で考え行動するといった考える力が乏しく指示待ちの事案が多くみられた。

〈意見・要望〉

- ・既にコミュニケーション能力、主体的行動力など様々な能力を身に付けていると思う。2025年度も採用活動を行って参りますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・他の職員と協力して仕事を遂行する能力(コミュニケーション、チームワーク能力)が高い方は伸びしろがあると思う。また、一般知識の身に付いている方も基礎から応用の段階に移るスピードが早まるのでステップアップしやすいと思う。
- ・個性を大切にしている部分も多いので、特別この能力を充実させた方が良いという事はありません。しいて挙げるのであれば人との関わりが大切な仕事なため目を見て話す、話を聞く姿勢、挨拶などコミュニケーションの基本を大事にしてほしいと思う。日々一生懸命頑張っております！今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・人との関わりを持つ仕事であれば”コミュニケーション力”が高い人材程貴重な人材はない。仕事だけでなく、今後の人間関係の構築のためにもコミュ力研修等があると就職の際には強い自信に繋がると感じている。御校の卒業生は現在、店舗のトップランナー的存在まで成長し、お客様からも多くの支持を集めている！！また、何よりも生き生きと仕事してくれている事に嬉しく思う。卒業生が新たな場所で社会人として目的ややりがいを持って仕事ができる場所、環境を作っていきたいと思うので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(4) 食物栄養学科

・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	24 人	88.9%
非正規	2 人	7.4%
正規及び非正規	1 人	3.7%
合計	27 人	100.0%

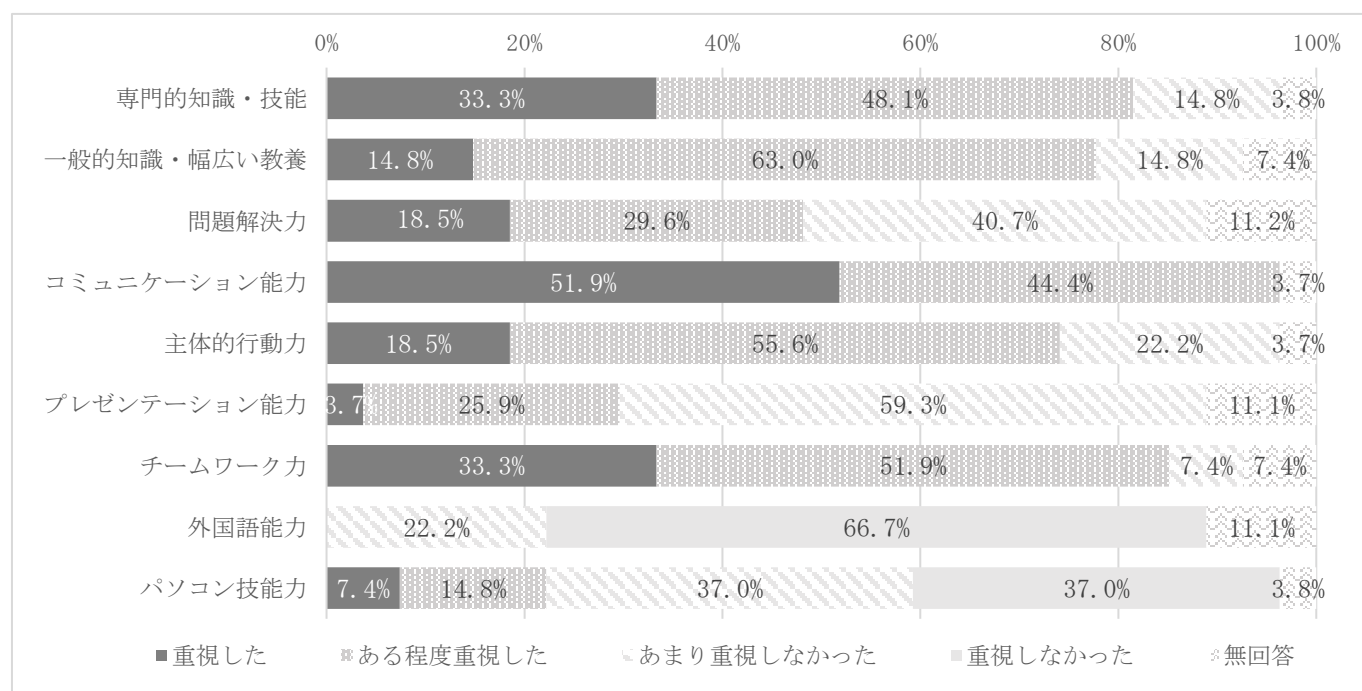
・業種の割合

業種	割合
医療・福祉	51.9%
保育園・幼稚園・こども園	33.3%
サービス業	14.8%
合計	100.0%

・職種の割合【質問 5】

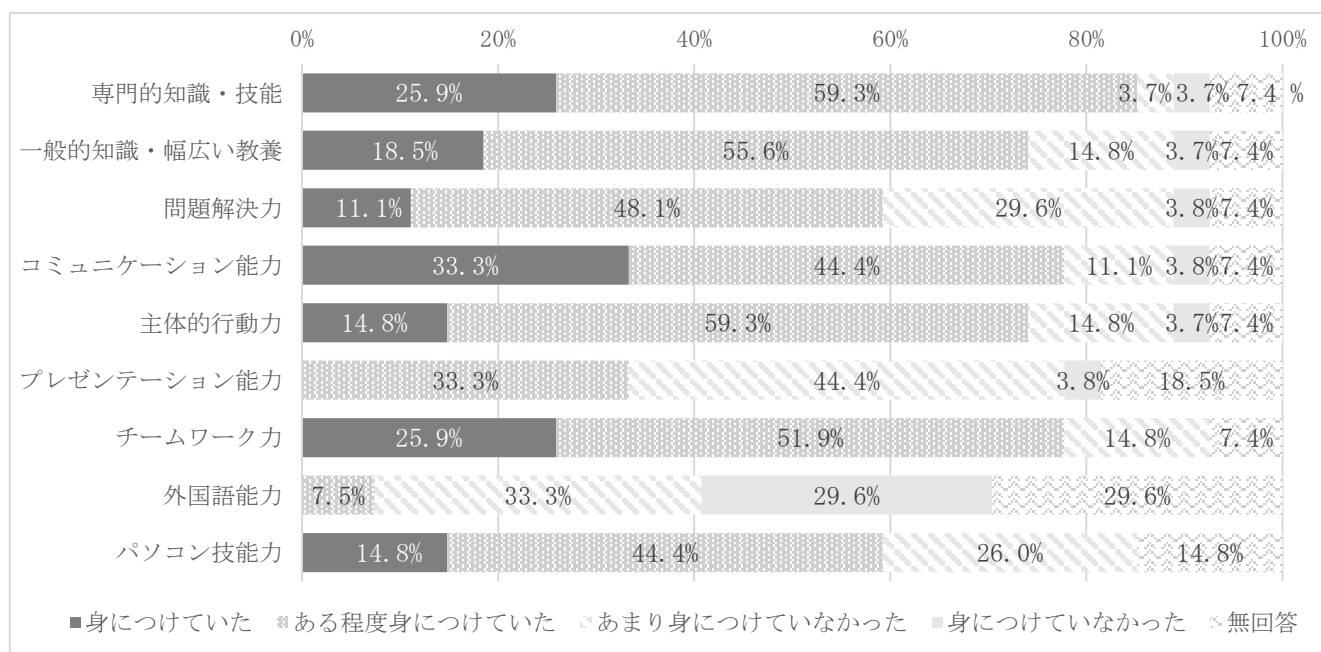
職種	割合
管理栄養士	14.8%
栄養士	70.4%
調理員	14.8%
合計	100.0%

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



その他重視した点: 人間性

【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか



その他重視した能力:人間性

〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・自園の事情で、来られてすぐに主担当として動いて頂いている。新しいことにチャレンジしたり、問題に対応したり、とてもよく頑張ってくれている。身に付いていなかったことは、特に感じないが、自園の決まりによく対応してくれている。
- ・素直でスタッフから可愛がられとても良い方。
- ・当園では職員間のチームワーク、コミュニケーション力を大事にしている。まだまだ、不十分な点は多々あるが、これを目標にしている。知識や技術も必要ではあるが、自ら率先して行動でき、物事を前向きに捉えることができる人に育てたいと思っている。
- ・「身に付けていた」と回答した項目については、現場でもコミュニケーションをしっかりととり、先輩栄養士とも良好な関係を築いている点を評価している。
- ・先輩や同僚とコミュニケーションを取りながら、真面目に業務と向き合いご活躍をいただいている。引き続きよろしく願いいたします。
- ・面接や式典にて直接お会いし、WEB 上では感じる事のできなかった温度感が伝わった。特にグループワークを実施した際に、リーダーシップを発揮していたり、人の意見をよく聞き、まとめていたりできていた。
- ・毎日、気持ちいい挨拶が返ってくる。また、困難な事もあると思うが自分自身あるいは周りの人の助けで克服し、仕事をしている。
- ・最初の1年は調理をしていただいているが、やはり若いためか覚えが良く助かっている。
- ・素直に受け入れ、チームの輪を大切に働いてくれており、入職してくれて本当に良かったと思える方。身に付けていなかった部分は仕事をしながら、身に付けていくものもあるので、特に重要とは思っていない。
- ・現場での自ら進んで挨拶やコミュニケーションを取る姿勢が素晴らしく、業務を教わる態度も申し分ない。色んな事に積極的にチャレンジ頂き頼りになっている。

〈上記能力を身に付けていない感じられる点〉

- ・主体的行動力に関して、身に付けていなかったという事ではないが、入職時より性格もあると思うがあまり変わらない方と徐々に職場に慣れて発揮される方など三者三様ある。皆さんどちらかというと受身のタイプという印象。
- ・教えたことは繰り返せばできていた。コミュニケーションを取るのが難しく、悩みの相談相手がゲームのオンライン上の友達とのことでうまく意見を引き出ししたりすることができなかった。その点が申し訳なかった。(昨年退職となっている)
- ・実習と現場は違うので、実際の現場での対応に難しさを感じるがあったため、他者に頼りつつも自分が主体的に動くべき所の判断がつかない部分もあったため。
- ・もしかしたら思っているより知識・技能もあるかもしれないが、コミュニケーション・プレゼンテーション能力に乏しく評価が下がってしまう。こちらも彼女に成功体験をしてもらい、やりがいを見出してあげられる指導、教育をしていきたいと考えている。
- ・問題解決力、プレゼンテーション能力は、これから職位を上げていくうえでも重要となるため、業務や研修の中で身に付けていただけるよう指示していく。
- ・人参ケーキを作ったとき、硬くて穴だらけだったが、ネットで調べたものをそのまま使ったようだ。過去のレシピ集を調べることなく、いきなり大量調理に利用されたが、そもそも調理になれておられるという状態ではなかったようだ。発注ミスをされる回数も多く、業者に訂正をお願いしても無理な場合があり、取り繕うのが大変なことが何度もあった。非常勤の先生に、上から目線で物言いされる場面が多々あるが、本人がまだ未熟だからダメというよりも、人間として和やかな会話になるようアドバイスする時がある。これからの経験で良くなるよう周りのサポートで改善し、実力をつけてもらえるようにしていく。
- ・2ヶ月で退職されましたので、指導も不十分でした。結婚退職です。(転勤を伴う)専門職で入職される場合は、できる事、できない事のご自身のレベルをしっかりと表してほしく思う。

〈意見・要望〉

- ・実習以外で施設見学を積極的に受け入れたいが方法が分からない。就職は、Web上で探す時代とは分かっているが、実際に学生さんと話したりどんなことを望んで仕事をしていきたいかが知りたい。実習や面接といった場面ではなく、時間は作るので落ち着いた環境で施設を見ていただいたり、働く楽しさ、難しさ等も伝えたいと考えている。当施設は病院だが、病院への就職希望者が少ないと聞いている。もっと学生が生の現場を見て選択できる機会があれば有難い。また、卒業生の声も聞いてコミュニケーションが取れれば、少しは安心感も出るのではと思う。
- ・期日までに提出、仕上げるなど、基本的な部分は守れるように指導して頂きたいと思うところもある。実習中は期日内に提出できても、実際に就職して守れないことも多い。個人の意識の問題だが、、、。
- ・給食室の中での仕事は、年齢が上の方が多いと思います。先輩を敬う気持ちや敬語など学べたら良かったと思う。自園の場合上手くやってくれている。
- ・まずは対人から学ぶことが多い職場のため、コミュニケーション能力を身に付けて欲しいと思う。巧みな能力は望んでいない。挨拶、分からないことを聞く力等最低限のビジネスマナーは必要かと思う。また、自分の将来にビジョンがないように感じる。予めビジョンがあればそれに向かったアドバイスをしていきたいが、、、指導

する側も勉強とは思っている。これからもよろしくお願いいたします。また、病院、施設の見学等気軽にお声掛けください。

- ・当社は、栄養士、管理栄養士を主に採用させていただいているため、専門知識を求めるのはもちろんだが、これらの知識をアウトプットできる人材を求め育てている。その為には、コミュニケーション力。プレゼンテーション能力、主体性を今後も伸ばしていけるよう社会、栄養士業界でも尽力して参りたいと思う。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・コミュニケーションスキルやストレス耐性を身に付けている学生が多くいるイメージ。
- ・コミュニケーション能力の充実、問題解決能力の充実が望ましい。
- ・技術や専門的知識、人との関わりなど様々な事を求められる仕事。未来ある学生さんが希望をもって仕事につき、続けられるように私たちは応援していきたいと思う。
- ・技術等に関しては仕事をしながら身に付けていく部分も多いかと思うので、ある程度できればいいと思う。必要なのは、コミュニケーションと挨拶がきちんと出来るかだと思う。基本的なところと社会人としてのマナーや会社のルールが守れるか。素直にそれらを受け入れることができる人が、相手にも受け入れられ働きやすい環境となると思う。まずは自分の意見ではなく、先輩たちの意見に耳を傾け、考える事が大事だと思う。
- ・R4年度に栄養士を一人採用し、その前は H31年度に同じく栄養士を1人採用したが、保育士は平成26年に1人採用したっきりである。その後、丸10年間貴校卒の保育教諭の方を採用するチャンスがない。また、保育実習にも来ない。もちろん、毎年のように求人を出ささせていただき、キャリアスにも出している。10年前までは実習にもおいでがあり、普通に応募があっていたのが、ただの人出不足というだけの結果ではないと思うようになった10年目である。処遇面では、①給与の引上げ②保育書類の削減③休み時間の確保④土曜の行事の削減⑤運動会、発表会を子どもたちの発達に合った楽しいものにする等々10年の間に園も随分変わり互いにアドバイスし、相談し合える職員が連携しあって安心安全を目指す職場である。もし、大規模(定員 235人、現員270人)は良くないよ、、、という説があるのなら、”大規模だろうが、小規模だろうが苦労は同じ。大規模であっても少人数のクラス編成をしているし、複数担任で多くの職員で仕事をやりやすくして、子ども達の関わりをたくさん作るようにしていますよ”と胸を張って言える。要はその園とその園の考え方、特徴、雰囲気はその学生さんに合ったものかどうか問題だと思うので、先入観で判断するのではなく、より多く自主実習をして欲しい。中には、『大規模＝良い教育ができない。子どもとの関わりが少ない』とレッテルを貼ったゆえにお話をされる講演会を尚綱短大の学生さんと共に拝聴した時もあり、その様な内容の先生方が他にも居られるなら学生さんも信じてしまわれるでしょうし、中にはそれを利用して囲い込みができることも想像できる。貴校の学生の方々には広い視野の基となる様々な判断材料と多様な考えのできる社会のあらましを学びの中で育てていただきたいと思います。学生さんの方の就職の道筋が特定のルートに偏ることなく、広く様々な施設を選択できる力を持つことができるよう後押ししていただけるならば、貴校の発展と地域への貢献による効果が学生さん方の更なる教育の質の向上へとつながる相乗効果を生み出すと思う。尚綱大学・尚綱大学短期大学部の発展を心より祈念している。
- ・ハラスメントのない職場作りを意識しているが、個人の受け取り方でストレスを感じる方も多いように思っている。心と身体のセルフケアについてもしっかり学んで実践して欲しいと感じる。
- ・同じ職場、同じ職種であっても感じ方が様々なよう。また、対人援助のため職場では入職後360度がストレスとを感じる方もいる。
- ・より良いコミュニケーションをお互いに取り合えるようにしているが、受け入れが難しい方も多いようだ。

- これまでいただいているご指導で十分である。いつもありがとうございます。昨年、今年とこれまでより新卒の方のご縁が少なくなっていることを心配している。弊社の至らない点や、学生のみなさまの傾向等をぜひご教示いただきたい。例年、10～12月に決まる貴学の枠を残して採用活動を行って参りましたが(熊本に限り)、その方針の変更も検討しているので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ここ数年、積極的な方が少なく時代なのか受身の方が多く印象を受ける。個々の性格もあるとは思いますが、社会に出たら色々な方とのコミュニケーションがとても大事だと考えているためコミュニケーション能力を充実させるのが望ましいと思う。

(5) 幼児教育学科

・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	56 人	86.2%
非正規	8 人	12.3%
正規及び非正規	1 人	1.5%
合計	65 人	100.0%

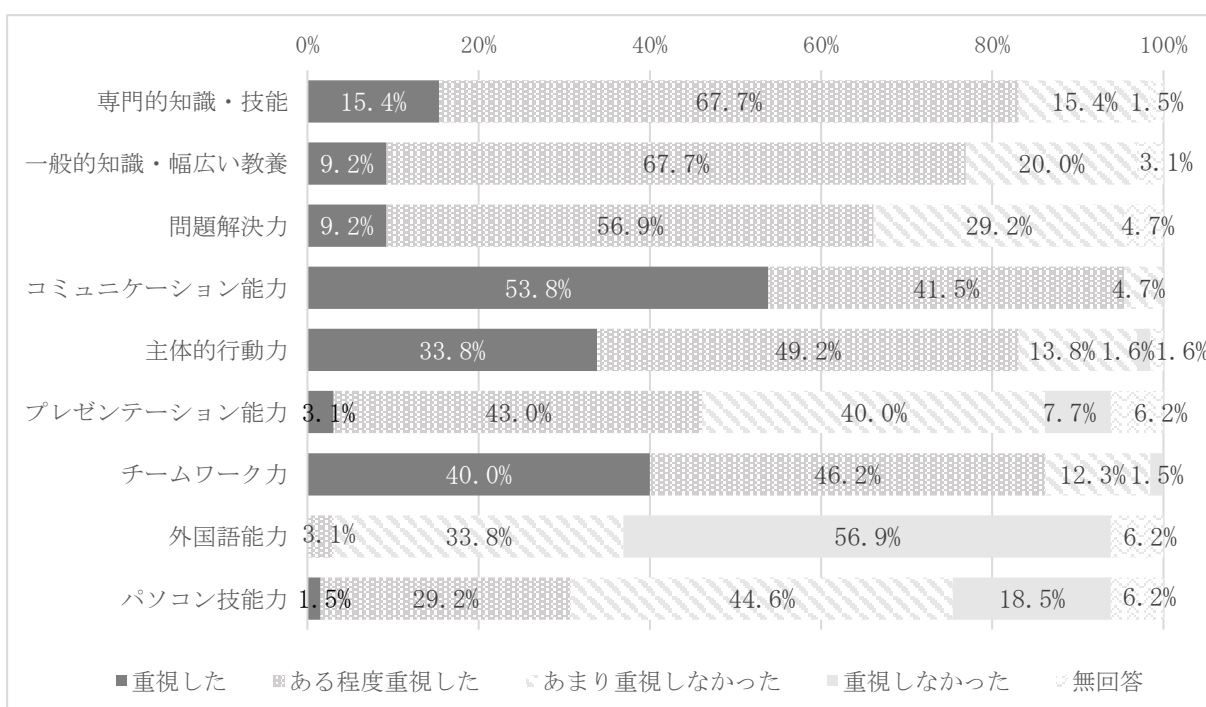
・業種の割合

業種	割合
医療・福祉	4.6%
教育・学習支援業	1.5%
保育園・幼稚園・こども園	92.4%
公務	1.5%
合計	100.0%

・職種の割合【質問 5】

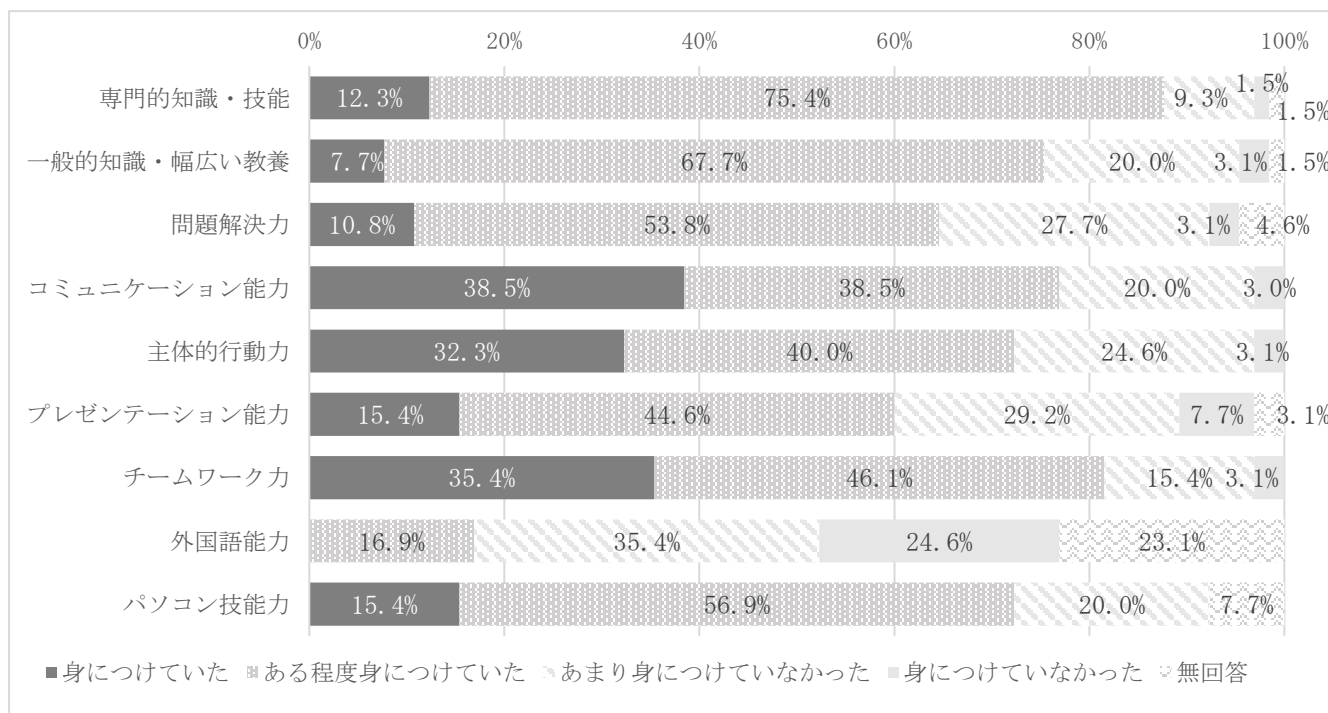
職種	割合
幼稚園教諭	16.9%
保育士	56.9%
保育教諭	26.2%
合計	100.0%

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



その他重視した点: 学生の頃何に熱中し取り組んだか。(学業に限らず)、熱意、姿勢、人柄、笑顔、人柄、園・子どもへの思い

【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。



その他重視した能力:笑顔、園・子どもへの思い

〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・身に付けていない事も、日々の子どもたちとの生活の中で身に付いていく事ができれば良いと感じている。子どもたちのために、一生懸命頑張ってくれている。
- ・一般知識や専門知識はある程度身に付けられており、コミュニケーション能力も十分にあったため、業務上の相談やこちら側からの助言やアドバイスをしっかりと受け止めて取り組む姿が見られていた。
- ・新任教諭として知識、行動力はしっかり身につけていたと思う。
- ・専門的なことや対応能力など現場で学び覚えていく事がたくさんあるのでそこは経験しながら今、身に付いているところである。
- ・今、保育所は、ほとんどの園はチーム制にしているので、1人でクラス担任するという事はない。なので、3年目くらいまでじっくりと園に慣れ、環境に慣れながら長く勤務していただきたいと思っている。技術やその他は、現場にいと自然に身に付くものだと思っているため、あまり焦ることはないと思っている。
- ・同僚の職員と協力して業務を遂行していた。また、主体的に業務に取り組み、不明点については先輩職員に相談し、柔軟に対応していた。
- ・貴学で学んだカウンセリングの技術を活かし、職員会はもちろん保護者とのコミュニケーションが円滑なので安心して任せられる。
- ・挨拶がしっかりとできていて、同僚や先輩に対するコミュニケーションを取っていて、仕事に対して前向きに取り組んでいる。
- ・挨拶や目上に対する言葉遣いや礼儀など人間性に対しては申し分ないくらいだった。
- ・子どもに対する接し方や保護者対応など安心して任せられた。

- ・分からないことに対しての積極性や素直さなど指導する上でとても良かった。育てることに対して、未来像が見えていた。
- ・多数の貴大学生がいますが、それぞれに成長している。
- ・専門知識や技能に関しては、1年目で発揮できるものではないと考えている。コミュニケーション能力も本人の性格もあるため重視していない。一番大切なのは、本人のやる気と分からないことを素直に聞ける勇気だと思う。この点がないと本人の成長も見られないと思う。
- ・分からないことをそのままにせず、すぐに周囲の先生や主任、施設長に確認することができていた。他の職員との連携も取ることができており、子どもはもちろん職員や保護者からも愛されている。身に付いていないと感じることはない。最初の頃に体調が悪い時も無理して出勤しようとするのがあったため体調が悪い時はゆっくり休むことも大事と伝えたことがあった。その後は、休めるようになっている。
- ・ホームページ作成、写真 パソコンでの編集等上手で任せている。
- ・他の職員と協調しながら行動できている。ICT システムを利用し、保護者との連絡、コミュニケーションを取っている。
- ・誰とでも打ち解け、話ができて先輩からのアドバイスも素直に聞き改善しようとする姿が見られる。挨拶、返事を大事にしている園だが、園の雰囲気に応じ自ら進んで挨拶してそれが子どもの指導にも活かされている。
- ・採用試験として、面接、学科(小論文形式)を行った。学科については、他の受験者と比較して正直面接官の採点は低かったため、点数だけでいうと不採用だったが、面接時の熱意と実習時の一生懸命さ、素直さなどの人柄が現在の自園の職員との組み合わせとして合うと考え決めた。利発さを判断の基準にしたため、採用時に身に付けていなくても時間はかかっても身に付けていけばいいという結論になった。
- ・入職後、早番遅番など慣れない環境でストレスが溜まってきたためか、キャリアアップ研修に入り、体調不良の訴えが続いた。自宅研修に切り替え、1 か月間休養してもらい復職。1 年間続けることができるか、とても心配した。8か月くらいすると表情も明るくなり、体調不良の訴えもなくなり、今ではクラス担任として頑張ってくれている。正職としての責任感もあり、頼りにされている存在だ。気になっているのは、提出物の出し忘れ、遅れ(指導計画、記録、給食費等)がある点である。
- ・保育力と保育資料や帳票などの作成する力が十分身についていた。一般的な社会経験は少ないと思ったが、就業後にしっかりと身に付き、育っていける素直さもあり、良い学生生活を送ってこられたと感じた。子どもに対する対応も周りを見ながらも自分で考え動いている。良い先生である。ありがとうございます。
- ・卒園児という事もあり、こうなりたいという目標を高く持っていた。
- ・人の話を聞く力(上司、同僚、保護者の話に真摯に耳を傾け理解しようとしている。もちろん子ども達の声にも丁寧に耳を傾けようとしている。)
- ・文章力(言葉数は少ないが、保育記録等の文章は、分かりやすく読み手にも伝わりやすい内容が書かれている。)
- ・本人自身の育ちから大きな影響があったのではないと思うが、自分からの発言や発信ができるようになるまで時間がかかった。能力はあるのに安心して表現することが難しかった様子。研修等を通して、最近では自分の思いを伝えてくれるようになってきたと思う。会議での発言にすごく抵抗感を感じている様子だった。ようやくこちらも本人が安心して発言できる関係性を築く事ができたのかもしれない。オールマイティーに卒なくなんでもこなすことができるし、保育観もよく近い将来園のリーダーになっていってくれるだろうと期待している。
- ・保育内容について、園内で意見交換したり、研修後の報告等で本人の自覚、学びを感じた。

- ・挨拶や勤務態度、責任感など良好である。若くてもとてもしっかりと頑張っている。一つ一つ仕事を身に付けている。
- ・専門的な知識、一般的な知識とバランスのとれた性格も明るく前向きであり、子ども達とも職員同士とも上手くコミュニケーションが取れており、誰とでも円滑に仕事を進められる。園を引っ張っていく力を持っている。
- ・自分の思い、意見を言葉にして相手に伝えることができる。
- ・分からないことは、その都度聞いて知ろうとする気持ちがある。
- ・コミュニケーション能力があり、先輩保育士をたてながらトラブルを起こすことはなかった。
- ・冷静に保護者とも対応でき、保護者からの信頼もあった。
- ・自分の考え、意見を中々言えず本人は苦しかったのではないかと思う。
1年目では受身の姿勢で取り組み、2年目で少し主体的に働けるようになっていたが、1年目から「どうしたら良いのか。」などであると良かったと感じている。
- ・保育に必要な研修会に積極的に参加し、実際の保育に活かそうと努力する姿が見られた。同じクラスを担当する保育者との意思疎通がうまくとれず悩む姿もあったが、主任等に相談し解決しようとする姿が見られた。
- ・園内での報連相、保護者対応が良く出来ていて、コミュニケーション能力が長けていた。
- ・仕事に向き合う姿勢は素晴らしい。真面目であり、正直でとても好感が持てる。
- ・尚絅大学短期大学部で身に付けた知識を基に幼児教育に力を発揮している。課題解決力があり、教職員間のチームワークもよくとれている。特に、幼児1人1人を大切に、丁寧な指導ができています。ピアノ伴奏の腕も上級の力があり、発表会でも活躍していた。素直な性格を持ち、幼稚園業務を前向きに務めあげている。
- ・園を見ての会話・言葉の大きさや積極的な姿勢(本園で就職したい etc)笑顔が、面会を通して伝わってきた。自身の課題についても誠実に回答していた。
- ・コミュニケーション能力は高く、分からない事や初めての役割についても自分から質問し、納得してから仕事を進めていく事ができていた。職員間の関係を大事にしているため、声をかけやすい雰囲気づくりに心がけていた様子が伺えた。
- ・言われた事以上のことを自分で考えて行動に移し、またその結果を反省してよりよいものにしていく力がある。
- ・2022年3月に採用した貴学卒の人物は近年稀にみる優秀な人材です。質問7で回答した通り、いずれの項目でも高い能力を持っている。能力の素地として「なにごとにも真剣に取り組む」「保育教諭の仕事を自分にとっての天職だと捉えている」という点があるように思う。想像するにこれらは当人を育てたご家族による教育、幼少期から当法人に入職するまでの間、当人への教育に携わった方々、友人関係等によるものと考えます。
- ・園児には、一人一人しっかりと関わろうと努力している。
- ・素直さはある。
- ・担任業務の学級経営や日々の保育は、漏れがないように取り組んでいる。
- ・コミュニケーションは性格もあると思いますが、誰にでも自分から話しかけたり聞くことができています。
- ・月案や個人記録における知識は身につけていた。

〈上記能力を身に付けていないと感じられる点〉

- ・ピアノが全く弾けない。よくあれでテストが通ったなど短大側の対応も不思議。
- ・ベテラン保育士が多いので、自分を中々出せない性格。(言われたことは無難にこなすが、自分から進んで取り組もうとしない。)

- ・コミュニケーション能力の部分では周りとのチームワークを大切に接する人格でもあるが、自分の意見を多く出さない反面、どういう思いや気持ちでいるのか周りに伝わりにくい部分もあった。自分のアイデアや意見を発信する力、工夫したり解決したりする力を前面に出す事で相手にも伝わり人間関係も良好になっていくと思う。
- ・コミュニケーション力やプレゼンテーション力、周りの職員と協力してより良いものを作り上げていく力は、これから身に付けていくところだと感じている。
- ・一般的な時事問題に対して全く興味、関心が見られない。せめて子どもに対しての世の中の流れを知ってほしい。
- ・ピアノが苦手なので、簡単な伴奏が弾けるようになっていけると良いが、本人の向上心や素直にアドバイスを受ける気持ちがあるので、ベテラン職員に習い克服しているところ。
- ・社会人としての自覚、基本的なことが身に付いていない。(挨拶・会話、報連相、コミュニケーション、文章の書き方など)
- ・保育所での業務は幅広く子どもの保育の為に職員同士のチームワークや保護者との関係、子どもに対しても臨機対応力が必要で、現場で学ぶことが多いため入職して身に付くことも多いと思っている。真面目で素直な職員ですが、何事にも瞬時に対応することが最初の頃は難しかったとの思いから「身に付けていなかった」に印をつけました。何事にも一生懸命取り組むため、少しずつできることが増え、頑張っている。
- ・コロナ禍での大学生活だったので仕方ないと思うが、実習など現場での学びが少なかったように思う。他の保育士との声掛けやチームワーク、専門性、やる気をもっと大学時代に学べたものはあったのではと思う。
- ・1年目で難しいと思うが、頼まれた仕事はよくやってくれるが、新鮮な目で組織等を見た時に、感じたり、思ったりしたことを話してくれることはなかった。また、その様な視点が欠けていたように思う。
- ・保育教諭として一番大事な笑顔・大きな声での挨拶等、議題に挙げても我が事として取らずにいる卒業生がいる。又、専門的知識等率先して本や研修等で勉強しようという意欲は見られない。園の職員として大事な「報告・連絡・相談」なしの卒業生がいる。何度注意しても我が事と思っていない。
- ・文章作成の後は、他の職員に添削してもらおうが忘れていたりぎりぎりになったりすることもある。
- ・提出期日が守れない時がある。
- ・仕事に対して受身のところがある。周りを見渡し率先して動いてほしいと思う時がある。
- ・乳幼児の発達に関する専門的な知識をもう少し深めて欲しい。年齢に応じた生活や遊びの計画が基本にあれば、育ちや実態に合わせて保育を進めやすくなると思う。
- ・子どもに対して、友達のような声かけ例:うける、やばいなど保育士としての関わりについては伝えているところである。また、爪を切って出勤することなど基本的な事を話さないといけないので、これは感覚の違いなのかとも思っている。
- ・スキルはあるものの実際、実技として行うとなると消極的になり、指示待ちや誰かがやってくれるといった様子で自ら行動する、子どもを指導することが難しかった。又、職場の上司への言葉遣いや教育が必要であり、必ず伝えているところである。

〈意見・要望〉

- 1 人ではできない事も周りのおかげにより乗り越えられると思う。おかげ様、ありがとうと思える素直な心、温かい心を育てていただけると有難い。仲間になって頂けたら、大切に思い、共に成長できるようにする。ご指導をよろしくお願いいたします。
- 近年、他人とのコミュニケーションが少ないのか困っている事や失敗したことを素直に相談できない学生が見られ、その反面上司や保護者に接する時のマナーを身に付けていない学生もいると感じている。専門的な知識や技能は、就職した後に身に付けても十分に大丈夫だと思うが、TPO に合わせた接し方や話し方は、学生時代に能力を充実させておくより望ましいと感じる。
別件ですが、アンケートの回答方法について、Google フォーム等を活用して集計されるのはどうか？回答する側もよりスムーズに回答できるかと思う。
- 保育の仕事に夢を持って皆さん就職されると思うが、1～2年目、3～4年目と離職してしまう(他の職や園と比べて、、、)ことがあり、とてももったいないと感じる。現場でもそうならない環境作りを考えているが、大学に於いても働くこと、社会とは人的コミュニケーションのとり方、時には厳しいこともあるという点をご指導いただけると有難い。保育の仕事の魅力を今の若い先生たちにどのように伝えていけば良いか、、、(生涯働いていけるような) 私たちも現場を努力していく。
- 色々な提出物について、期限までに提出するという習慣付けが欲しい。また、少しでも疑問点が生じた時には積極的に先輩たちに聞いてほしい。
- 専門知識も大切な事だが、仕事に対して前向きに取り組む姿勢や社会人として向上していこうとする自覚を大切に育てて欲しいと思う。また、組織の一員としてもチームワークを重んじ、お互いに尊重できる感謝の心が大切なため、そのような機会を設けてほしい。
- 本学卒業生だけに限らず、一般常識においてはしっかりと身に付けて、就職して欲しいと思う。挨拶、言葉遣い、仕事をする上での協調性、態度などそれぞれの性格もあるかもしれないが、ある程度社会人としての在り方など教えて欲しい。学生気分のまま就職してしまっている人が見られ、保育とは別の面で時間がかかってしまい大変だった。
- 失敗を抱え込まない様にすること、分からないことは素直に質問でできればいいと思う。就職活動面では、自主実習に来られるのはいいが、一日だけの人が多いと思う。実習にも来られていないのに、自主実習が一日だけとは何を見て決定しているのだろうと思う。自分の将来が一日で決まるのかな？と疑問に思う。よっぽど園側の対応が悪かったのなら分かるが、、、
- 保育はチームプレイなので、連携を取ることが必要とされる。1 人で抱え込まないことの大切さを知っていると働きやすいと思う。一方で、正規職員の場合、事前に計画を立て副担任や保護者に伝えなければならないので、事前に計画を立て周知したり、活動の後に振り返りができるといいと思う。個人的には、保育園も新しく保育士になった方を育てていく責任を強く自覚していかなければと感じている。相談しやすい環境なのか？休みやすい人数配置なのか？常に配慮していかなければと思う。大学、学生、園がそれぞれ連携しながらやっていければと思う。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- 先の見通しを立てて今は何をすべきか、指示される前に自分で考え行動に移すことができる力がつく経験。
- 最近では、特に個人的に人間関係で悩まれる学生さんを多く見かける。人間関係に於いては、広い視野を持ち客観的観点から物事を考える力を身に付けて欲しいと考えている。
- 人の役に立つことに喜ぶを感じることができる感性。
- インターンシップ等で、自分の適性(保育者としての)を考える機会があると良いと思う。

- ・挨拶、言葉遣いなど丁寧にできる社会人となるよう指導して頂きたいと思う。専門的な知識は、座学で学べるが経験を積むことで更に人としても成長できるため、保育実習を多くしたりバイトでも保育園等ですると、見て学ぶことができるので、学生さんに積極的に活動するよう後押しして欲しい。
- ・Z世代についての理解の研修をいくつか受講した。難しい時代を生きていく若者たちに対して、私たちも理解をしながら関わっていく必要があると思っている。専門知識を身に付けることはもちろんだが、経験や実践の中で人と関わる力や社会人としての常識をどう見につけていくかが大事だと思っている。インターンシップや自主学習にもっと来て欲しいと思うし、そのための働き掛けをお願いしたい。また、平成音楽大学のお祝い隊のような学生さんがボランティアで出し物をしてくれるような交流の会、卒業生が学校に話をしに行く出前講座的なものなど、学校と現場の交流を増やしていただきたい。尚綱さんからは、ここ5年で保育士3名採用しているが、皆辞めることなく働き続けてくれている。能力については個人差はあるが、どう育てていくかが大事だと思っている。あとは、本人がミスマッチを感じないよう(1年以内の早期退職など)保育園の求人票には表れていない情報提供をされると良いのではないかな。労働条件はもちろん大切だが、お金だけではない所もあるかなと思う。卒業生に対して悪いイメージはありませんし、感謝している。就職支援活動についてはもっと保育園と連携をとってできることがあると思う。
- ・初めて、新卒を採用した。多少、不安はあった。保育観や保育のやり方はそれぞれの園で違うと思うので、少しずつ覚えてもらったらいいと思う。言葉の使い方は大事で、こどもたち、保護者、職員に対しては丁寧な言葉を使ってほしいと思う。
- ・卒業生の母校訪問など、学生が実際の現場で働く先輩から学べたり、交流できる場が持てると地方から県外に就職した時などのイメージが具体的にできると思う。また、県内以外の地域にも積極的にインターンシップなど活用し幅広く就職先を選んで欲しいと思う。実際に新卒社員に色々な発言の場を設け、広く仕事について語ってもらい、良い刺激を受けさせてもらっている。
- ・コミュニケーション能力・問題解決能力・行動力・セルフマネジメント・感謝・気遣いができる。
- ・熊本県内では、保育士の質の高さにおいて尚綱出身であれば安心できるといった信頼感はあると思う。実習においても中身の濃い内容や自分なりに挑戦していると思う。自ら課題を見出し解決していこうとする態度が育っていて、好感が持てる。様々な学生がいる中で御苦労なさっていることも多々あると思うが非常に感謝している。今後ともどうぞよろしくお願いします。
少しずつアンケートもデジタル化していただければ大変ありがたい。
- ・保育の楽しさ、奥深さを追求したいという意欲。
- ・子どもが自主的にやってみたいと思うような保育内容環境を自ら考えていけるよう保育者としての基本的な知識と実践がリンクするような機会を学生の方に多く経験してもらいたい。就職活動については今は保育士不足で学生の方の情報をあまり知らない状態で入職してもらおうケースもあるが今後子どもの数が減少していく事を見通していくと学生の方の人間性、保育への意欲等自分をアピールするプレゼン能力も必要になってくるように思う。
- ・尚綱大学短期大学部 卒業生が50代、40代、20代と勤務している。皆、人柄も良く責任感や保育技術も素晴らしい保護者や子ども達、他職員からも信頼され、親しまれている。園の大きな力となっている。
- ・保育力は日々の保育の経験の積み重ねで期待できるが、社会人としての基本的なマナーの充実は欲しい。
- ・ピアノや歌唱能力は必要なので、2年～4年間で磨きをかけて欲しい。
- ・障害児保育・病児保育等今後は必要度が高まることが予想されるので、これらの力も身に付けてもらいたい。
- ・発想力・・・自身が経験していない事やみらいについてイメージする力をつけて欲しい。

- ・歴史のある学校ですので、実習生をお預かりした時、また、就職してきた時に大変常識があり、即戦力になると感じている。長年の経験から打ち出された学ぶべき内容が的を得て、しっかりとしたのだからだと思う。そのスキルプラス(子ども権利条約を代表するような)人権に配慮できる人、今の時代を読める人、組織人としてチームワークを重んじてくれるといった能力を育てて欲しいと思っている。就職は、市内の方が有利なのは仕方ない事だが、地元や実家の近くの文化や歴史を受け継ぐというのも魅力のひとつとし、(他にも色々魅力はありますので)実習の時等伝えたいと思うが、学校でもそのあたりのご配慮よろしく願いいたします。
- ・現場での学びはとても大事だと思う。実習において、疑問に思ったこと、分からないことはそのままにしておかずに聞く事、質問することでより多く学ぶことができると思う。
保育士不足といわれる中で、当園にも数名実習にきていただいております大変ありがたく思っている。実習を通して今後就職に繋がっていければ嬉しい。
- ・本園は子ども達に音楽に親しむことを0歳児から取り入れているので、ピアノの技術は必須である。
- ・性格は努力で変えられる。
- ・素直な人材が望ましい。
- ・コミュニケーションが大切な環境であるため、様々な人間関係(上司、同僚、保護者)の築き方を具体的に指導していただくと、現場に出た時に円滑な人間関係が築いていけるのではと思う。
- ・専門知識だけでなく、社会人としてのマナー、人間性を重視したいと考えている。
- ・子ども、保護者、職員との対話力(コミュニケーション能力)の充実を希望する。
- ・学生時代にたくさんの教材づくりをしていた方が保育現場ですぐに役立つのではないかと。パネルシアター、手袋人形、自分の財産にもなる。働き出してからでは作る時間もない。教材があれば子どももその保育士が大好きになると思うし、自信を持つ1つのきっかけにもなると思う。
- ・私立幼稚園は独自の文化、特性があり、大学等で学んで得た力だけでは対応するのが難しいところがある。幼児教育の基礎知識は基本的に重要ですが、幼稚園の持つ特性に早く慣れ、学ぶ力をもって他の教職員とのコミュニケーション力を高めていく必要がある。特に重視しているのは健康な体で休むことなく勤務を続けていけるかである。
- ・求人に関しては、各園共に厳しい状況が続いており、実習も含め(一日実習含む)、採用試験に応募してもらえるだけで嬉しい限りである。特に大きな希望はないが、「他者とのコミュニケーション(受け止めや伝え方 etc)」は、就職後は大きなことであり、子どもよりも対職員や保護者において必要な能力であり、この力の土台があることで、ある程度の壁を乗り越えていけると考える。その意味では、同世代に限らず、様々な世代との交流や学びが自然と学生の力の土台に繋がるのではないかと。業界として、マイナスイメージもある(例:マスコミ、報道 etc)と思うので、こちらの力不足もあると思うが、引き続きたくさんの学生を育てていただき、今後、一緒に園を支える仲間となっていきたいと切に願っている。
- ・近年、保育業界では不適切保育の報道により保育施設に対して良くない印象を持たれているため、熱心に保育を行っている施設が多数ある事をしっかりお伝えされ、自身でも園の見学を十分にされ保育関係への就職を進めていただきたい。基本の資質については、素直な性格で学ぶ姿勢がある方は現場ですぐと伸びていくため、大学での座学はこれまで通り大丈夫である。
- ・非常に優れた方を採用することができ、今後の活躍にも期待をしている。貴校が優秀な学生を輩出されている事に深く感謝している。
- ・多くの人と(職員同士、保護者など)触れ合うので、コミュニケーション能力やメンタル面の強さも欲しい。
- ・受身、指示待ちでない、自ら学ぼうとする意欲を持っている事。

- ・技術力(ピアノ・絵画)なども必要だが、チャレンジ精神を望む。始めからこれはできません、という子が増えている。
- ・認定こども園が保育教諭を採用するにあたり、新卒は当年度の7月頃から採用活動を本格化するが、貴学の就職指導の時期(秋以降)とは合致しないので、大変残念である。
- ・コミュニケーション能力は必要。例えば、説明をした後理解しているか尋ねると「大丈夫です」と答える。何が分かっているのか、分かっていないのかが掴めない事がある。「聞く、聴く、また尋ねる力」があると自分の安心感に繋がるし、自信を持てるようになると思う。
- ・人として大事な事(笑顔・挨拶・何かをしてもらった時の感謝の言葉が言える。)
- ・実習先で内定が決まり、実習がない園は求人票をだしてもなかなか面接ができない。仕方のない事だろうと思うが広く生徒さんも園を見て自主実習を受けてくれたらと思う。
- ・1人1人違うので難しいが、子どもの成長にとっても影響を与える存在であることを十分に理解して欲しいと思う。そのことを職場でも研修などを通して伝えているが、学校の方でももちろん伝えていच्छることと承知している。
- ・コロナ禍での学生の大切な時期を過ごし、コミュニケーション能力が問われる年代なのかもしれない。保育の現場では、コミュニケーション力が無ければ、とても勤まらない現場である。保育、教育のスキルはもちろんだが、社会人としてのマナーもしっかり学んで社会に出て欲しいと思う。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部卒業生の 就職先に対するアンケート

尚絅大学・尚絅大学短期大学部

学長 山縣 ゆり子

このアンケートは、本学卒業生（令和4年3月卒業）を採用いただいた事業所の皆様に、採用にあたり重視した能力や採用後の本学卒業生の能力を評価していただくことにより、本学における教育の質の向上を図るための参考とするものです。

回答いただける範囲で構いませんので、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答後は、返信用封筒にてご郵送ください。メールやFAXでの返信も受付けております。

ご回答期限：令和6年1月31日（水）

送信先メールアドレス：kikaku@shokei-gakuen.ac.jp

FAX: 096-363-2975

※ 本アンケートで評価いただく対象は、**令和4年3月に本学を卒業**し、令和4年4月から令和5年3月までに貴事業所で採用いただいた本学卒業生です。

※ できる限り「人事・採用」のご担当者様が回答くださいますようお願いいたします。

※ 回答は統計的に処理しますので、事業所名等が特定されることはありません。

※ 調査結果は、本学の教育の質の向上を図るための参考として使用します。

＜アンケートに関するお問い合わせ先＞

尚絅大学・尚絅大学短期大学部
大学企画室

TEL: 096-362-2011

E-mail: kikaku@shokei-gakuen.ac.jp

質問1. 貴事業所の業種について、該当するものを一つ選び○をつけてください。

※ 業種が多岐にわたる場合は、主要な業種でお答えください。

※ 貴事業所が次に該当する場合は、以下のとおり○をつけてください。

【教育委員会】→「12.教育、学習支援業」
 【保育園、幼稚園又はこども園】→「13. 保育園・幼稚園・こども園」
 【給食委託会社】→「15. サービス業（他に分類されないもの）」

1	建設業	10	生活関連サービス業、娯楽業
2	製造業	11	医療・福祉 [病院、保健所、福祉事務所、老人福祉・介護事業など]
3	電気・ガス・熱供給・水道業	12	教育、学習支援業 [小・中・高等学校、大学、図書館、学習塾など]
4	情報通信業	13	保育園・幼稚園・こども園
5	運輸業、郵便業	14	複合サービス事業 [郵便局、協同組合など]
6	卸売業、小売業	15	サービス業（他に分類されないもの） [法律事務所、旅行業、広告業など]
7	金融業、保険業	16	公務（他に分類されるものを除く） [国や地方公共団体の行政機関など]
8	不動産業、物品賃貸業	17	その他（ ）
9	宿泊業、飲食サービス業		

質問2. 貴事業所の従業員規模について、該当するものに○をつけてください。

※契約社員、パートタイマーを含む

1. 10人未満 2. 10人以上 50人未満 3. 50人以上 100人未満 4. 100人以上

以下〈問3～問7〉は、令和2年3月に本学を卒業し、貴事業所で令和2年4月から就業している本学卒業生についてご回答ください。

質問3. 本学卒業生の出身学部・学科に○をつけてください。複数の学部・学科から採用された場合は、該当するもの全てに○をつけてください。

〈尚絅大学〉

1. 文化言語学部

2. 生活科学部

〈尚絅大学短期大学部〉

3. 総合生活学科

4. 食物栄養学科

5. 幼児教育学科

質問4. 本学卒業生の雇用形態について、該当するものに○をつけてください。

1. 正規雇用

2. 非正規雇用（契約、嘱託、雇用期間1年以上かつ週30時間以上勤務）

3. 正規雇用及び非正規雇用

質問5. 本学卒業生の職種について、該当するもの全てに○をつけてください。

1	幼稚園教諭	2	栄養教諭	3	中学校教員	4	高等学校教員
5	司書教諭	6	司書	7	管理栄養士	8	栄養士
9	調理員	10	保育士	11	保育教諭	12	支援員
13	福祉職	14	事務職	15	営業・販売職	16	食品衛生管理者
17	サービス職業従事者（接客業）			18	その他（ ）		

質問6. 採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。該当する番号に○をつけてください。

		重視した	ある程度 重視した	あまり 重視しなかった	重視しなかった
1	専門的知識・技能	1	2	3	4
2	一般的知識・幅広い教養	1	2	3	4
3	問題解決力	1	2	3	4
4	コミュニケーション能力	1	2	3	4
5	主体的行動力	1	2	3	4
6	プレゼンテーション能力	1	2	3	4
7	チームワーク力	1	2	3	4
8	外国語能力	1	2	3	4
9	パソコン技能力	1	2	3	4
10	その他（ ）	1	2	3	4

質問7. 本学卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。全ての能力に対して該当する番号に○をつけてください。なお、複数名採用いただいている場合は、総合的に評価してください。

※「10」の空欄には、質問6の「10.その他」で回答いただいた項目をご記入の上、評価してください。

		身に付けていた	ある程度 身に付けていた	あまり 身に付けていなかった	身に付けて いなかった
1	専門的知識・技能	1	2	3	4
2	一般的知識・幅広い教養	1	2	3	4
3	問題解決力	1	2	3	4
4	コミュニケーション能力	1	2	3	4
5	主体的行動力	1	2	3	4
6	プレゼンテーション能力	1	2	3	4
7	チームワーク力	1	2	3	4
8	外国語能力	1	2	3	4
9	パソコンの技能力	1	2	3	4
10		1	2	3	4

※「身に付けていた」又は「身に付けていなかった」と感じられた点を具体的にお聞かせください。

質問8. 本学が卒業生に対してどのような能力を充実させるのが望ましいか、本学卒業生及び就職支援活動などについてどのように感じておられるのかご意見等ございましたらお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。